

平成27年7月1日（金）と7月15日（金）に出された質疑応答内容について、分けることなく記載させていただいております。

①平城西幼稚園の存続について

Q 保育室が2室しかない状況を勘案し、平城西幼稚園を閉園するとのことですが、隣接する小学校の空き教室を利用して、平城西幼稚園をこども園へ移行することはできないのですか。

A 奈良市では、施設の集約や民営化などのあらゆる手段をもって幼保再編を進めることで、幼保連携型認定こども園を設置し、限られた人材と財源を活用し、効率的に教育・保育の充実を図っていきます。小学校の空き教室を使用し、平城西幼稚園をこども園へ移行するためには、新たな予算（小学校の教室やトイレを幼児仕様に改修するための改修費用等）と人材の確保が必要となるため、本市の幼保再編の取り組みに目的がそぐわず、実現が困難です。

Q どうして平城西幼稚園が閉園なのですか。園児募集停止等基準に該当しているわけではなく、新たに住宅開発も行われているので、これから子どもの数は増えると思います。

A 奈良市では、全ての市立幼稚園と市立保育園を再編し、幼保連携型認定こども園に移行する予定です。園児募集停止等基準該当園は、優先して再編が行われますが、該当がなかった園についても、こども園への移行に向け、順次再編を行っていきます。また、住宅開発については再編対象園の周辺で行われている場合もありますが、開発された住宅入居者の市立幼稚園への入園が定かではなく、大幅に園児数が増える見込みはないと判断した場合は、計画通り再編を実施していきます。

Q 通園距離が長くなるのがとても負担です。3年保育や給食の実施は確かに魅力的ではありますが、今の幼稚園のままで十分満足しています。鶴舞・平城・東登美ヶ丘・神功など近隣の幼稚園は存続する一方で、平城西幼稚園は閉園することとなり、見捨てられたように感じてしまいます。平城西幼稚園をそのまま残してはもらえないでしょうか。

A 奈良市全体として市立幼稚園の施設数が他の中核市（人口20万人以上の都市）と比較して多い一方で、園児数が減少し続けている現状と、そこに投入できる人材と財源が限られていることを考慮すると、これまでどおり平城西幼稚園を運営し続けることは難しい状況です。市としては、適切な集団規模での教育・保育の実施と教育・保育サービスの充実をはかるため、市立施設の集約や民営化により、認定こども園への移行を順次行っています。通園距離が延びてしまうことは、再編におけるデメリットではありますが、駐車場・駐輪場を確保することに加え、施設の集約や民営化によって生み出された人材と財源を有効活用することで、毎日通園する園児が楽しく学びあい、育ち合うことのできる園づくりと、保護者の皆様に満足していただける園運営を行っていきます。

Q （仮称）東登美ヶ丘・平城・鶴舞・神功こども園など、全てのこども園が開園し、ある程度周辺状況が固まった時点で平城西幼稚園を閉園してはいけないのですか。

A 市立こども園を設置し、市立幼稚園園児数の減少と教育・保育ニーズの多様化に一刻も早く対応するためには、計画年での再編と閉園を行い、適切な園運営のための人材を確保する必要があります。

②通園方法について

Q 徒歩で平城幼稚園舎に通うことができません。こども園には駐車場を整備してくれるのですか。また、行事などの際、駐車場がいっぱいにならないか心配です。

A 再編により遠方から通園する方もいらっしゃるのですが、駐車場・駐輪場は整備させていただきます。また、行事等の場合はおおよその駐車場必要台数を把握したうえで、必要な措置をとらせていただきますので、ご安心いただくと幸いです。

Q 通園バスを出す方針はないのですか。

A 通園バスについては、本市の厳しい財政状況と、バスに乗り続ける子どもの負担や保護者と担任の連絡の取りづらさを考慮し、通園時間も保護者と子どもの関わる大事な時間であると考えていることから、運行の方針はありません。

Q 現在のところ平城幼稚園舎には駐車場はありませんが、こども園開園までに平城幼稚園の未就園児クラス参加や園の見学に行く際には、どこに車を止めておけば良いですか。

A 平城幼稚園では平成29年の夏休み以降に園舎改修工事を開始する予定です。駐車場の整備についても同じタイミングで着工する予定ですが、遠方からの未就園児クラスの参加や園見学者を考慮し、できるだけ早く完成できるように対応させていただきたいと思います。

Q （仮称）平城こども園では車通園の許可対象者は、園舎より規定の円を描き、その範囲外の地域に住む人を対象とするとのことですが、実際にはどれくらいの範囲を許可するのですか。また、それはいつまで決定するのですか。

A 車通園の許可範囲については、現在平城幼稚園の登園状況や周辺道路の状況等を調査のうえ、検討を行っているところです。園児募集までには決定のうえ、皆様にお知らせさせていただきたいと考えております。

③鶴舞幼稚園について

Q 同じ中学校区の鶴舞幼稚園と再編されるのであれば納得ができますが、平城幼稚園との再編には納得ができません。

A 鶴舞幼稚園に関しては、平成27年度入園分の園児募集において、園児募集停止等基準に該当し、園運営の見直しを行うなかで、周辺保育園が待機児童を抱えていることや、近鉄学園前駅までのアクセスの良さを考慮し、運営を民間に移管することにより、さらなるサービスの拡充を図ることができると考え、民営化という方針決定にいたしました。平城西幼稚園と平城幼稚園は、確かに中学校区は異なりますが、市立幼稚園児童数の減少や、増加・多様化する保育ニーズを勘案し、中学校区を越えた再編を実施することとしています。

Q 平成29年度開園の（仮称）鶴舞こども園にも平城西小学校区在住者を第一優先として取り扱ってほしいです。

A （仮称）鶴舞こども園は保育室が計4室のみであり、3年保育を行うと、施設の都合上、各学年1クラスの定員規模にせざるを得ません。また、保育室1室の面積で受け入れられる人数は、国の基準で定められているため、その点からも大規模な定員設定は行うことができません。そのなかで、鶴舞小学校区・平城西小学校区両方の在住者を第一優先とすることは難しく、（仮称）鶴舞こども園の第一優先は鶴舞小学校区の子どものみとなります。

Q 鶴舞幼稚園の民営化は平成32年4月を予定しているそうですが、移管先の事業者は決定しているのですか。事業者も決定していないのに、民営化の開始時期だけ決定するのはいかがなものかと思えます。

A 移管先の事業者については、現段階では決定はしておりませんが、今後、より優良で意欲のある移管先法人を幅広く募るため、公募による方法を取り、外部有識者や保護者を含む関係者から構成する移管先法人選定のための委員会を設置し、選考の公平性・透明性をしながら決定を行う予定です。民営化の開始時期は、あらかじめ設定し公表することで、保護者の皆様への周知と移管までの手続きをスムーズに行うことができると考えております。

④その他

Q 説明会の案内や閉園の情報、説明会当日の質疑応答内容などは、どこで得れば良いですか。未就園児のいる家庭に案内文を送付する等の措置はとっていただけませんか。

A 説明会の案内文については、在園児の方及び未就園児クラスにご登録いただいている方については、園を通して案内文を配布させていただいております。また、近隣の子育て支援センターや子育てスポットすくすく広場、つどいの広場等にも、説明会の開催が決定次第、周知にご協力いただいております。ご家庭への案内文送付の件についてですが、園区がない奈良市では、市全戸の未就園児のいる家庭に送付が必要となることや、他園においても説明会を実施している現状を考慮すると、実現は困難であると思われれます。今後は、自治連合会にもご協力をいただきながら、回覧板等により、周知に努めてまいりたいと考えています。

Q 各こども園の定員はいつ決定されるのですか。

A 例年次年度入園分の園児募集は、10月頃に行いますが、その時期には定員を決定し、お知らせします。

Q 例えば（仮称）東登美ヶ丘こども園に入園の申し込みをした後、抽選に漏れた場合、（仮称）平城こども園に申し込みを行うことは可能ですか。また、たとえ可能であっても申し込みを二度行うことには時間と手間がかかってしまいます。

A 抽選に漏れたあとの他園への申し込みは、その園に定員の空きがあれば行うことが可能ですが、定員が既に埋まっている場合は申し込みを行うことができません。抽選から漏れることを憂慮される場合は、園児募集願書受付期間において、各園の願書受付数の現状をお教えすることができますので、各園にお問い合わせのうえ、申し込み人数と定員数、ご自身のお住まいが抽選で優先されるこども園を総合的に勘案し、申し込みを行ってください。